

< 目次 >

推薦の言葉	公益社団法人 全国自治体病院協議会 常務理事 茅ヶ崎市立病院 院長 仙賀 裕	1
はじめに		2
序章	東日本大震災に伴う福島第一原発事故	5
Part I 福島の風評被害を考えてみよう		
第1章	放射線被ばくに関して誤解はないか	7
1-1	福島原発事故による放射線被ばくに関する誤解の実際例	
1-2	放射線は少し浴びたほうが健康によい。本当か？	
1-3	原発事故避難者への差別による「いじめ問題」	
第2章	福島 新たな風評被害	17
2-1	「米 安全なのになぜ売れない」	
2-2	近隣諸国で根強い風評被害	
2-3	「風評被害」新たな実態	
第3章	「安全・安心への取り組み」と風評被害	21
3-1	食品の放射性物質検査について	
3-2	福島産農産物と人権侵害等の風評被害とは	
3-3	福島県の風評・風化対策強化戦略について	
第4章	放射線影響に関する「感想と意識調査」	27
4-1	福島の高校生が「風評被害」についてフランスで発表	
4-2	食品中の放射性物質等に関する意識調査について	
4-3	放射線に関する意識動向の調査	
4-4	放射線教育の現状と放射線に関する意識調査	
Part II 「放射能」と正しく向き合うために		
第5章	太古の昔から自然界に存在する放射線	37
5-1	不思議な放射線の世界	
5-2	日常生活における環境放射線	
5-3	放射線・放射能に関する単位	
5-4	放射性物質の減衰・半減期	
第6章	放射線の人体への影響	43
6-1	身体の中の放射性物質	
6-2	放射線被ばくの健康への影響	
6-3	放射線被ばくによる健康リスク	
第7章	福島第一原発事故の放射性物質による環境汚染	53
7-1	東日本大震災の概要	

7-2	福島第一原発事故の放射性物質による環境汚染の概要	
7-3	放射性物質による環境汚染とその推移	
7-4	福島県民の事故直後の外部被ばくと行動記録からの線量の推計	
7-5	原発事故状況と国際原子力事象 (INES) 評価	
7-6	「広島・長崎の原爆と福島原発事故」での放射能汚染の違い	
7-7	福島第一原発事故とチェルノブイリ原発事故	
7-8	事故後の現状と課題	
第 8 章	食品の放射性物質汚染	63
8-1	食物に含まれる天然放射性物質	
8-2	食品の放射性物質汚染	
8-3	食品中の放射性物質の基準値	
8-4	食品の安全性は確保されている	
8-5	学校給食の安全・安心の確保	
第 9 章	放射線の管理・防護に関する規制と対応	73
9-1	原発事故 子ども・被災者支援法	
9-2	平常時の管理に伴うモニタリング	
9-3	非常時における放射性物質に対する防護	
9-4	退避や避難の考え方	
9-5	放射性物質の管理とは	
9-6	放射線の規制値	
9-7	セシウムで何 Sv(シーベルト)くらい被ばくするのか	
9-8	職業人である「放射線業務従事者」の被ばく管理	
9-9	住民の被ばく管理は放射線業務従事者と同じレベルで	
第 10 章	いろいろな放射線を測る	83
10-1	目で見える放射線	
10-2	放射線の測定機器	
10-3	測定器の特徴	
10-4	測定の対象と測定器	
10-5	実用化されている特殊放射線測定機器	
第 11 章	暮らしや産業での放射線利用	93
11-1	農業における放射線利用	
11-2	「環境・資源・工業」分野における放射線利用	
11-3	先端科学技術での放射線利用	
11-4	自然・人文科学分野での放射線利用	
11-5	医療における放射線利用	
第 12 章	放射線に関連する国際機関	99
12-1	原子放射線に関する国際機関	
12-2	国際機関による福島原発事故の評価	
資料	国内 Web サイト	107
引用資料・参考文献		108
あとがき		110